

【18】『修驗安心義鈔全』

刊1冊(49-4)

〔書名よみ〕しゅげんあんじんぎしようぜん
〔著編者〕海浦義観
〔写刊年次〕明治三二年(二八九八)

〔外題〕修驗安心義鈔 全

〔内題〕修驗安心義鈔

〔その他題〕〔凡例〕修驗安心義鈔 〔尾〕修驗安心義鈔卷下

〔残欠状況〕全 〔保存状況〕小破 〔装訂〕綴葉装 〔紙数〕

七八丁 〔本文用字〕漢字・片仮名・梵字 〔一面行数〕一二行

〔界線〕ナシ 〔匡郭〕ナシ 〔表紙〕朽葉色・無地 〔法量〕縦

一五・七糎×横一六・五糎 〔料紙〕洋紙 〔書入〕ナシ 〔表紙書

入〕ナシ

〔印記〕ナシ 〔備考〕ナシ

〔奥書〕明治三十一年十月廿八日印刷 定価金五十銭

年十一月十五日発行

青森県平民
版權所有 著述兼発行人 海浦義観

印刷人 多田三彌

陸奥国西津軽郡深浦村大字深浦四百十五番戸
東京麹町区内幸町一丁目五番地

印刷人 恵愛堂

東京麹町区内幸町一丁目五番地

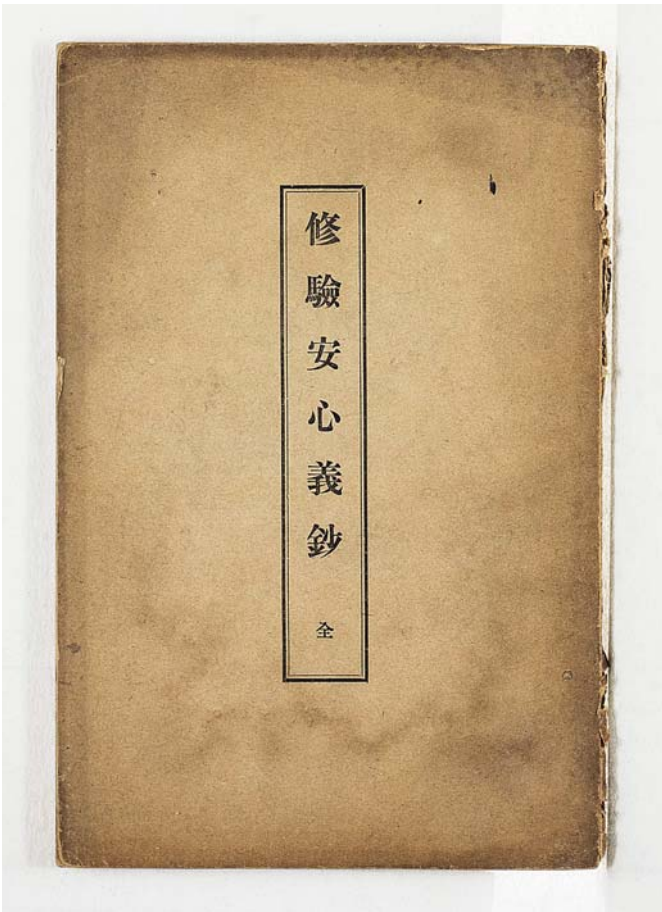
発行所 青森県陸奥国西津軽郡深浦村大字深浦 円覚寺

〔解題〕

印刷人となっている恵愛堂は、義観の『陸奥津軽深浦地方沿革誌』でもやり取りがあったことが、『深浦沿革誌発兌諸費控』(48-5)から分かる。

本書執筆の背景や意図については『修驗安心義鈔草稿上』(49-1)の解題に述べた通りである。凡例と本文の間に大きな異同はない。

(尾崎 名津子)



明治二十九年九月

三寶院門法題



修驗安心義鈔

凡例

一本編ハ修驗門安心ノ大綱ヲ撮テ後學新發意ニ知ラシメ如實
 知自心ノ明玉ヲ研磨スル階梯ナリ

一修驗門ハ密宗ト其宗意大同小異ニシテ初メ密教門ヨリ入り
 修驗門ヲ厥究スルルハ義理明了ナリ易シ故ニ本編ハ密宗安
 心義章ニ基キ其章句十六章ヲ用井密宗意ヨリ修驗ノ祕意ニ
 入り後進チシテ甚深究竟ノ宗義ナルコト知ラシム故ニ密宗
 安心義章ノ句ヲ以テ材料トナスコト數多シ學者能ク之ヲ察
 セヨ

一初心ノ學者不二門ヲ談スルニ無相三密第一實際ノ境界中ニ

二

ハ因果ヲ離タルカ故ニ因果ナシト談シ後進チシテ多ク斷常
 ニ墮スル過アラシム故ニ十善十惡因果應報ヲ以テ正法ノ通
 宗トスル所以ヲ説明ス學者能ク之ヲ了解セヨ

一本宗從來安心ニ至テハ面授口傳ノミ多クシテ初心新發意ノ
 了解シ易キ書甚々尠シ故ニ予謗劣不肖ヲ顧ミス本編ヲ著述
 ス疑ラクハ誤謬アルコト有ラン莫クハ博覽ノ大先達之ニ訂
 正チ加フルアラハ予カ大幸何ソ之ニ過キンヤ

明治二十二年仲春

海浦義觀謹識

修驗安心義鈔卷上

海浦義觀著述

第一 己心佛土章

修驗安心ト者何ソヤ曰一切衆生實ノ如ク自心ヲ知リ實ノ如ク
 自身ノ實相ニ安住シテ虛妄顛倒ノ爲ニ動轉セラレサルヲ謂フ
 ナリ所謂自心ノ本性トハ識大ナリ自身ノ實相トハ地水火風空
 ノ五大ナリ此六大ナリ體性トス無始無終萬德輪圓ノ妙用ニシテ
 本來空寂不變不動ナリ其體妙ナルカ故ニ虛靈ナリ虛靈ナルカ
 故ニ知覺ナリ衆生具足隨々圓成諸佛衆生ノ本源ニシテ然モ亦
 諸佛ノ開示悟入スル所ノ法ナリ火ニ入テモ燒ケズ水ニ入テモ
 溺レズ土ニモ朽チサルカ故ニ自心ノ本性ヲ名ケテ金剛ノ正體

百四十六
 未來際ヲ盡シテ水ヲ取テ作サシト誓心決定シ晝夜ニ常ニ禮拜
 懺悔シ念誦發願シテ往生ノ正業ニ廻向スヘシ廻向發願ノ言ニ
 曰弟子某甲願以如是念誦懺悔所生功德廻施一切衆生未離苦者
 願令離苦未得樂者願令得樂未發菩提心者願令發菩提心未斷惡
 修善者願令斷惡修善未成佛者願早成佛又以如是念誦懺悔所
 生功德願共法界衆生捨此身畢得生心佛淨土聞法悟道證無生忍
 獲大神通遊歷十方歷事諸佛恒聞無上大乘法又以如是所生功
 德共法界衆生從今向去永離三惡趣身常於淨土中聞法娛樂爲一
 切衆生作大善知識願一切衆生聞我名者悉發菩提心見我身者斷
 惡修善聽我說法者得大智慧知我心者即身成佛

修驗安心義鈔卷下終

明治三十一年十月廿八日印刷
 同 年十一月十五日發行

定價金五十錢

版權
 所有

發行所

圓覺寺

青森縣陸奥國西津輕郡深浦村大字深浦

著述人 兼 海浦義親

印刷人 多田三彌

印刷所 惠愛堂

東京市町區內寺町一丁目五番地

正誤
 卷上一行朽ハ朽ノ誤六行了別姓ハ性ノ誤六行摧朽ハ摧朽ノ誤六行
 阿呼ハ阿呼ノ誤六行床堅ハ床堅ノ誤三十四行識淺ノハ淺クノ誤二
 四十三行衆生ハ聖衆ノ誤四十六行深妙ハ深妙ノ誤四十七行眞體ハ直體
 ノ誤六十三行依テハ依ラノ誤六十四行三業ハ三業ノ誤
 卷下八十行設ノ下ニチ脱入十三行眞體ハ直體ノ誤六十三行得意ノ訓點
 得意ノ上チ脱入十七行雜部ヘハノ誤九十行呼字ハ呼字ノ誤九十三行
 呼字ハ呼字ノ誤九十八行鉢羅奢法ハ鉢羅奢法ノ誤百十三行性ハ性ノ
 誤百二十五行天竺ハ天竺ノ誤百二十四行至ノ下リチ脱百二十六行文珠ハ
 文殊ノ誤